

セーフコミュニティ認証準備段階都市としての登録について

1. 登録日

平成 22 年 3 月 11 日

原則として、ここから 2 年間の準備活動の後、認証申請書の提出が可能となる。

(※平成 22 年 3 月 11 日現在 126 都市が準備段階都市として登録)

平成 22 年 3 月 12 日付で、正副議長、各会派の幹事長宛て文書で報告

Safe Communities Designations under preparation

Community	Country
Aomori Prefecture	Japan
Atsugi- Overview ; Letter from Mayor	Japan
Kyoto Prefecture	Japan
Minowa - Overview ; Letter from Mayor	Japan
Toshima City, Tokyo - Overview ; Letter from Mayor	Japan

※登録されているウェブサイトのページは以下のとおり

http://www.phs.ki.se/csp/who_safe_communities_network_en.htm

2. WHOセーフコミュニティ協働センター所長からの返信

別紙のとおり

3. 高野区長からの書簡（日本語文）

別紙のとおり



2010-03-11

Dnr: <Dnr>
Sid: 1 / 1

Department of Public Health Sciences

Division of Social Medicine
SE-171 76 Stockholm, Sweden
Leif Svanström
Professor
Leif.svanstrom@ki.se

To
Mayor Yukio Takano
Toshima City, Tokyo
Japan

RE: Letter of Intention to Become a Member of the International Safe Community Network – Toshima City, Tokyo

Dear Mayor Yukio Takano,

Karolinska Institutet, Department of Public Health Sciences, Division of Social Medicine, WHO Collaborating Centre on Community Safety Promotion has received your letter of intention and the Overview of Toshima City.

We have now listed Toshima City at our web page under “Safe Communities Designations under preparation”: down at http://www.phs.ki.se/csp/who_safe_communities_network_en.htm

The Certifying Centre in South Korea: Center for Injury Prevention and Community Safety Promotion, will perform site visit and evaluate the programme: contact person Professor Joon Pil Cho E-mail: jpcho@ajou.ac.kr

We are looking forward to meet the 2 repetitive from Toshima at the 19th International Safe Communities Conference in Suwon 23-26 March.

We hope to meet you in Sweden 2011 at the 20th International Safe Communities Conference.” Celebrating two decades of International Safe Community Development - going back to where it all started” 6-9 September 2011, Falun Municipality, Dalarna, Sweden.
Or in Japan at the 6th Asian Regional Conference on Safe Communities in 2012, Friday 11 - Sunday 13 May, 2012 in Tokyo.

Leif Svanström, Professor, Chairman
WHO Collaborating Centre on Community Safety Promotion
CC: Professor Joon Pil Cho E-mail: jpcho@ajou.ac.kr
Yoko Shiraishi E-mail: yokomature@cyberoz.net

Postaladdress
Karolinska Institutet
Dept. of Public Health Sciences
Div. Social Medicine
SE-171 76 Stockholm, Sweden

Visiting address
Norrbäcka, 2nd Floor
(at Karolinska Hospital area)
Solna
Map: www.phs.ki.se/csp

Phone
+46 8 737 38 70
Fax
+ 46 8 33 46 93

E-mail
moa.sundstrom@ki.se
www.phs.ki.se/csp



豊島区

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-18-1

電話:03-3981-1111 Fax:03-3981-4333

2010年3月11日

WHO セーフコミュニティ協働センター
所長 レイフ・スヴァンストローム 様

豊島区は2009年11月から、セーフコミュニティについての学習と活動を始めてきましたが、このたび正式にセーフコミュニティに取り組むことを豊島区の住民を代表して宣言いたします。

豊島区は、東京の特別区の一つであり、人口26万3千人、日本で一番人口密度が高い自治体です。一日263万人が乗り降りする“池袋”という商業業務機能が集積する繁華街があること、また、住宅地には一人暮らしの高齢者が多く住むことなどから、特に、安全・安心なまちづくりには力を入れてきました。

平成12年には、生活安全条例を制定し、子どもから高齢者まで、生活の安全の質を高める様々な事業を住民とともに展開しています。平成18年には、自治の推進に関する基本条例を制定し、公的機関と住民やボランティア団体が連携・協働を広げながらまちづくりを進めてきました。

また、従来からの自治会活動に加え、小学校区を単位とした新たなコミュニティの拠点として、「地域区民ひろば」を区内全域に設置しています。そして今後は、これまでの交通安全や犯罪・暴力の予防に加え、自殺や虐待の防止、職場や公共の場の安全にも取り組みを広げたいと考えています。

豊島区は、住み続けたいまち、また、文化や観光の面で多くの人を訪れるまちとなるため、熱意をもって取り組んでまいりますので、セーフコミュニティ認証準備段階の一都市に加えてください。また、セーフコミュニティ活動を効果的に推進し、認証を取得したいと考えていますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

豊島区長 高野之夫



豊島区

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-18-1

電話:03-3981-1111 Fax:03-3981-4333

2010年3月11日

WHOアジア地域セーフコミュニティ協働センター

所長 チョ ジュンピル教授 様

豊島区は2009年11月から、セーフコミュニティについての学習と活動を始めてきましたが、このたび正式にセーフコミュニティに取り組むことを豊島区の住民を代表して宣言いたします。

豊島区は、東京の特別区の一つであり、人口26万3千人、日本で一番人口密度が高い自治体です。一日263万人が乗り降りする“池袋”という商業業務機能が集積する繁華街があること、また、住宅地には一人暮らしの高齢者が多く住むことなどから、特に、安全・安心なまちづくりには力を入れてきました。

平成12年には、生活安全条例を制定し、子どもから高齢者まで、生活の安全の質を高める様々な事業を住民とともに展開しています。平成18年には、自治の推進に関する基本条例を制定し、公的機関と住民やボランティア団体が連携・協働を広げながらまちづくりを進めてきました。

また、従来からの自治会活動に加え、小学校区を単位とした新たなコミュニティの拠点として、「地域区民ひろば」を区内全域に設置しています。そして今後は、これまでの交通安全や犯罪・暴力の予防に加え、自殺や虐待の防止、職場や公共の場の安全にも取り組みを広げたいと考えています。

豊島区は、住み続けたいまち、また、文化や観光の面で多くの人を訪れるまちとなるため、熱意をもって取り組んでまいりますので、セーフコミュニティ認証準備段階の一都市に加えてください。また、セーフコミュニティ活動を効果的に推進し、認証を取得したいと考えていますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

豊島区長 高野之夫

1 豊島区の概要

豊島区は、東京 23 区の西北部に位置し、面積が 13.01k m²、人口 26 万 3 千人、日本で最も人口密度が高い都市です。日本を代表する桜、“ソメイヨシノ”の発祥の地であり、区を象徴する木となっています。

その中心には文化、商業、業務機能が集積する池袋副都心があり、池袋駅の日乗降客数は

263 万人にもものぼります。区内には池袋駅を含めて 16 の鉄道駅があり、交通利便性の高い住宅地が広がっています。

また、6 つの大学や個性的な専門学校など、10 万人が学ぶ教育都市であり、昔から多くの若者が移り住み、夢を描き、豊かな文化と芸術を育んできた歴史を持つまちでもあります。

安全・安心都市づくりを目標として、暮らしの安全と健康を守るために、地域の住民が主体的な取り組みを展開しています。



2 経緯

- (1) 2009 年 10 月 京都府亀岡市、青森県十和田市を視察、SC 取得に向け研究開始
- (2) 2009 年 11 月 日本市民安全学会参加（横浜市）
- (3) 2010 年 2 月 区長の SC 認証に向けての取組宣言

3 人口構成

総数 263,212 人（男 123,456 人、女 121,181 人、外国人 18,575 人）2010 年 1 月 1 日現在

年齢別	総数	男	女	年齢別	総数	男	女
0-4	7,426	3,808	3,618	55-59	14,761	7,787	6,974
5-9	6,800	3,424	3,376	60-64	16,958	8,632	8,326
10-14	6,697	3,429	3,268	65-69	14,358	6,910	7,448
15-19	7,285	3,642	3,643	70-74	11,902	5,167	6,735
20-24	15,705	7,969	7,736	75-79	10,191	4,082	6,109
25-29	23,891	13,032	10,859	80-84	7,685	2,764	4,921
30-34	23,654	13,151	10,503	85-89	4,334	1,295	3,039
35-39	22,435	12,158	10,277	90-94	1,861	459	1,402
40-44	18,801	10,133	8,668	95-99	532	121	411
45-49	15,634	8,287	7,347	100 以上	89	21	68
50-54	13,638	7,185	6,453				

4 死亡原因

平成 20 年 死亡原因（死亡統計より）

総数 2,168 件

1 位	がん（悪性新生物）	668 件	2 位	呼吸器疾患	344 件
3 位	心疾患	338 件	4 位	脳血管疾患	215 件
5 位	消化器系疾患	106 件	6 位	老衰	62 件
7 位	不慮の事故	67 件	8 位	自殺	58 件
9 位	腎疾患	51 件	10 位	代謝疾患	43 件

（※不慮の事故には交通事故 6 件を含む）

事件・事故による死亡件数 125 件

1 位	自殺	58 件	6 位	その他の外因	7 件
2 位	転倒・転落	13 件	7 位	交通事故	6 件
3 位	その他の不慮の事故	13 件	8 位	煙、火災及び火炎への暴露	5 件
4 位	窒息	12 件	9 位	有害物質による中毒及び暴露	2 件
5 位	溺死	9 件			

5 予防対策と取り組み

（1）各年齢層における外傷予防対策と取り組み状況

予防対策・取組み等	区	区との連携その他
① 0～14 歳		
・安全安心メール	○	警察
・子ども 110 番の家	○	警察
・子ども安全連絡網	○	
・地域安全マップづくり	○	
・薬物乱用防止教室	○	警察
・子ども事故予防センター開設	○	保健所
・乳幼児の事故予防パンフレット配布	○	保健所
・子どもの防災教育		消防、消防団、消防少年団
・普通救命救急講習会（中学 3 年生）	○	消防、消防団
・エイズ予防教育	○	保健所
・命の大切さについて講習会	○	
② 15～24 歳、25～64 歳		
・安全安心メール	○	警察
・薬物乱用防止教室	○	警察
・こころの相談／家族問題相談	○	保健所
・精神保健セミナー（自殺予防）	○	保健所
・自殺予防メッセージカード配布	○	保健所

・ゲートキーパー講習会	○	保健所
・命の大切さについて講習会		高校
③65歳～		
・高齢者筋力アップ教室	○	
・認知症予防教室	○	
・浴場ミニデイサービス	○	浴場組合
・おたっしや給食	○	社会福祉協議会
・健康教室		高齢者在宅サービスセンター 特別養護老人ホーム、高齢者クラブ
・友愛・見守り活動		高齢者クラブ
・おたすけクラブ（ポットによる見守り等）		ボランティア
・見守り支えあいネットワーク	○	見守り活動協力員、民生児童委員

（２）家庭、学校、公共空間等における外傷予防対策と取り組み状況

予防対策・取組み等	区	区との連携その他
①家庭の安全		
・住宅の耐震化	○	消防、消防団
・家具転倒防止等の促進	○	消防、消防団
・住宅用火災警報器の設置促進	○	消防、消防団、町会・自治会
・緊急通報システム（高齢者、重度障害者）	○	消防
・住宅のバリアフリー化	○	
・民生・児童委員による活動		民生児童委員
②外出時の安全、交通安全		
・ガイドヘルパー派遣（移動のサポート）	○	
・手話通訳者派遣事業	○	
・交通安全教室		警察
・交通安全運動		警察、交通安全協会、町会・自治会
・自転車安全教室	○	警察
③職場の安全		
・労働安全衛生指導		労働基準監督署
④学校の安全		
・青少年相談		保護司会
・学校110番設置	○	警察
・防犯カメラ設置	○	
・防犯ブザーの配布	○	
・登下校時の見守り	○	P T A、町会・自治会
・学校施設の安全点検	○	

(3) リスクの源における外傷予防対策と取り組み状況

予防対策・取組み等	区	区との連携その他
⑤犯罪被害防止		
・安全安心メール	○	警察
・子ども110番の家	○	警察
・防犯パトロール	○	警察、町会、商店街、環境浄化委員会、青少年育成委員会
・防犯カメラ等の設置	○	町会・自治会、商店街
・学校110番設置	○	警察
・セーフティ教室	○	
・情報モラル教室	○	
⑥暴力被害防止対策		
・こんにちは赤ちゃん事業（乳児虐待防止）	○	保健所
・高齢者虐待防止	○	地域包括支援センター、弁護士 精神科医、警察
・DV相談窓口（電話・来所）	○	
・デートDV（若年層への啓発）出張座談会	○	
・子どもの虐待防止	○	
・民生・児童委員による活動		民生児童委員
⑦自殺防止対策		
・教育相談	○	
・ゲートキーパー活動		
・精神保健セミナー（自殺予防）	○	

(4) 防災・火災における外傷予防対策と取り組み状況

予防対策・取組み等	区	区との連携その他
⑧災害被害防止		
・防災無線	○	
・防災訓練	○	消防、警察、自主防災組織
・子ども関係施設における避難訓練	○	
・災害時一人も見逃さない運動		民生・児童委員
・住宅の耐震化	○	消防、消防団
・具転倒防止等の促進	○	消防、消防団
・住宅用火災警報器設置促進	○	消防、消防団、町会・自治会
・火災安全システム	○	

(5) その他の外傷予防対策と取り組み状況

予防対策・取組み等	区	区との連携その他
⑨救急措置の普及		

・ A E D 設置	○	事業所、商店街
・ 家庭での安全対策「応急手当講習」実施	○	消防

6 住民の安全の品質向上のための住民組織

- ・ 町会・自治会（自主防災組織）
- ・ 防犯協会、母の会
- ・ 交通安全協会、交通安全少年団
- ・ 環境浄化委員会
- ・ 消防団、消防少年団
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 民生児童委員協議会
- ・ 高齢者クラブ
- ・ 障害者団体連合会
- ・ 青少年育成委員会
- ・ P T A
- ・ 商店街連合会